2026年11月13日

各　位

会社名　　ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社
代表者名　　代表取締役社長 CEO 兼グループ CEO　小野 有理
（コード番号 6699　東証スタンダード市場）
問合せ先　　専務執行役員 CFO　徳原 英真
（TEL　06-6302-8211）

営業外費用の計上及び2027年３月期第２四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2027年３月期第２四半期連結累計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）において、営業外費用（為替差損）を計上いたしました。また、2026年５月15日に公表しました2027年３月期第２四半期連結累計期間の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．営業外費用（為替差損）の計上について

2027年３月期第１四半期連結累計期間に為替差損109百万円を計上しておりましたが、為替相場の変動により、当第２四半期連結会計期間に為替差損490百万円を計上いたしました。
その結果、当第２四半期連結累計期間の為替差損は599百万円となりました。

これは主に当社及び連結子会社が保有する外貨建資産を四半期末時点の為替レートへの評価替により発生したものであり、今後の為替相場の状況により変動します。

２．連結業績予想値と実績値との差異について

（１）第２四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 48,100	百万円 600	百万円 ▲170	百万円 ▲420	円 銭 ▲48.23
実 績 値（B）	50,578	1,088	146	▲167	▲14.06
増 減 額（B－A）	2,478	488	317	252	－
増 減 率（%）	5.2	81.4	－	－	－
（ご参考）前期実績 （2025年９月期）	46,628	1,388	1,146	425	50.46

（２）差異の理由

売上高につきましては、自動車機器事業において中国および米国での内燃機関搭載車の増産や為替円安の恩恵を受けたほか、電子機器事業においても国内省エネ基準改定に伴う空調機器向け駆け込み需要が増加いたしました。エネルギーソリューション事業においてサイバーセキュリティ新規格

（JC-STAR★）の取得遅延に伴う減収影響はあったものの、全体としてはこれをカバーし、前回発表予想を2,478百万円上回りました。

営業利益につきましては、全工場で実施される社長総点検を中心とした、全世界の傍楽仲間達による「お客様要求品質第一に徹する」ための不良撲滅、原価低減および経費節減等の諸施策を継続したことで収益改善が進みました。また、エネルギーソリューション事業における市場対応費用の改善に加え、自動車機器事業においても米国の関税影響を受けたものの、トップセールスを筆頭とした挙社一致のお客様接点創造を通じた事業構造改革ならびに収益構造改善を推進した結果、前回発表予想を488百万円上回りました。

経常利益につきましては、為替相場の変動に伴い営業外費用として為替差損599百万円を計上したものの、営業利益の大幅な伸長が寄与し、前回発表予想を317百万円上回り黒字転換となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、経常利益の増加に加え、特別利益として投資有価証券売却益143百万円を計上したことにより、税金費用415百万円を計上した影響を吸収し、前回発表予想を252百万円上回る結果となりました。

なお、2027年３月期通期の連結業績予想につきましては、エネルギーソリューション事業におけるサイバーセキュリティ新規格（JC-STAR★）の取得遅延による下期への影響や、為替相場の変動をはじめとする足元の外部環境が不透明であることから、今後の業績動向を慎重に見極める必要があるため、2026年５月15日に公表いたしました数値を据え置いております。

以　上